

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-207064 (P2006-207064A)
 【公開日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-031
 【出願番号】特願 2005-19485 (P2005-19485)
 【国際特許分類】

D 0 1 F 6/80 (2006.01)

【 F I 】

D 0 1 F 6/80 3 3 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 30 日 (2007.10.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

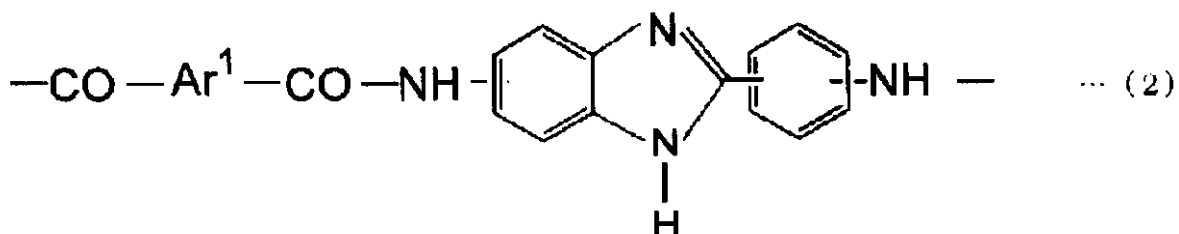
芳香族コポリアミド繊維を製造するに際し、下記式 (1)、および下記式 (2) の構造反復単位を構造単位の全量に対して 30 ~ 100 モル % 含む芳香族コポリアミド溶液を紡糸口金から吐出したのち、温度 20 ~ 50 、濃度 10 ~ 50 重量 % の NMP 水溶液中で凝固せしめ、次いで温度 20 ~ 50 、濃度 30 ~ 80 % の NMP 水溶液中で 1.3 ~ 2.5 倍に延伸せしめ、さらに熱処理することを特徴とする芳香族コポリアミド繊維の製造方法。

【化 1】



(Ar¹およびAr²は各々独立であり、非置換あるいは置換された 2 価の芳香族基である。)

【化 2】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された 2 価の芳香族基である。)

【請求項 2】
 熱処理温度が 300 ~ 550 である請求項 1 記載の芳香族コポリアミド繊維の製造方法。
 【請求項 3】
 芳香族コポリアミド繊維の引張強度が 20 cN / d t e x 以上、初期モジュラスが 50

0 c N / d t e x 以上である請求項 1 又は 2 記載の芳香族コポリアミド繊維の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

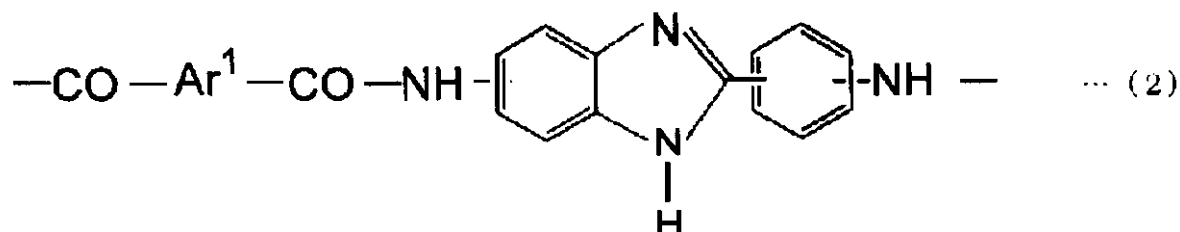
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化 2】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された 2 価の芳香族基である。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

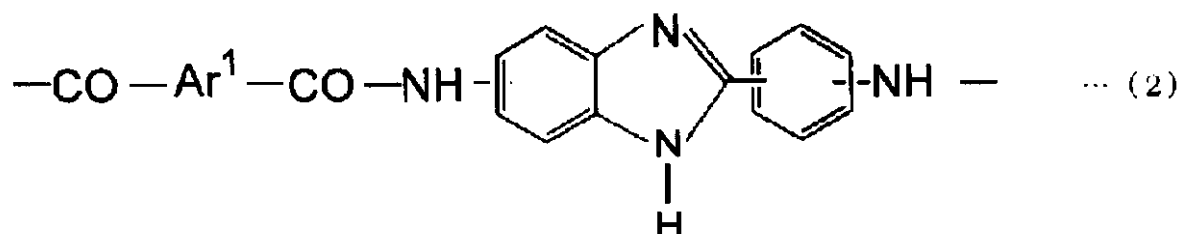
【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【化 4】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された 2 価の芳香族基である。)